

会 議 記 録				
会議の名称	予算特別委員会（全体会）			会議場所 全員協議会室
				担当職員 加藤 太郎
日 時	令和6年3月27日（水曜日）			開 議 午前10時00分
				閉 議 午前10時26分
出席委員	◎小川 ○山木 小林（総務文教分科会◎） 大石（環境市民厚生分科会◎） 林（産業建設分科会◎） 竹内 大西 法貴 土岐 片山 富谷 大塚 浅田 原野 松山 三上 山本 平本 齊藤 梅本 木村 福井 西口 <菱田議長>			
執行機関 出席者				
事務局 出席者	井上事務局長、数井次長、野澤副課長兼総務係長、加藤副課長兼議事調査係長			
傍 聴	可	市民1名	報道関係者0名	議員0名（－）

会 議 の 概 要

10:00

[小川委員長 開議]

1 委員長報告の確認

<小川委員長>

これより委員長報告の確認を行う。委員長報告については、お手元配付のとおり各分科会の報告を全体会として取りまとめており、ただいまから朗読させていただきますので、確認願う。

[富谷委員長 朗読]

<小川委員長>

委員長報告に対する意見はないか。

<西口委員>

文章の切れ目等に十分注意し間違いがないように願います。

<福井委員>

指摘箇所をしっかりと強調して読み上げていただきたい。

<富谷委員>

第1号議案一般会計予算に係る反対討論の箇所について、「生活に困っている市民が多い中で、一般会計からの繰り出しを含めて措置するよう、差し戻して考えてほしい」とあるが、どの事業のことか分かりにくいのではないかと。

<事務局副課長兼議事調査係長>

委員長報告の中の討論箇所については、各委員が討論した内容を要約して表現されているが、御指摘の反対討論に係る事業について発言はなかった。実際には本会議において具体的に討論されるものであり、委員長報告の段階ではこのような表現で

よいのではないかと考える。

<富谷委員>

分かった。

<小川委員長>

御意見を踏まえてしっかりと委員長報告させていただく。文面はこのとおりでよい
か。

—全員了—

2 閉 議

・副委員長あいさつ

・副議長あいさつ

<山木副委員長>

最重要議案の一つである当初予算議案審査を担う使命は大変大きなものであったが、3月6日に本委員会が設置され、3月14日から分科会方式による6日間の集中審査において、委員各位には円滑な審査と委員会運営に御理解と御協力をいただいた。21日に実施した市長質疑をはじめ十分に議論を尽くされ、全40議案の審査を無事に終えることができたことに感謝申し上げます。

<浅田副議長>

小川委員長、山木副委員長はじめ、委員各位には、令和6年度当初予算案について、3月14日から実質6日間にわたり慎重に審査をいただき、21日には全8項目の市長質疑も実施され、市民の負託に応えるべくしっかりと議論を尽くすことができた。また、私自身のために4日間のオンライン審査を実施いただいたことにも感謝申し上げます。本日午後の本会議において議案を採決することになるが、二元代表制を担う市議会として、予算の執行状況やその事業成果について十分にチェックしていく使命があることをお含みおきいただき、今後の議会運営を進めていかなければならない。議会が一丸となってその役割を果たすべく、議員各位の御協力をお願い申し上げ、予算特別委員会閉会にあたっての挨拶とさせていただきます。

<小川委員長>

これで散会とする。

散会 10:26